

2009年7月20日

専修大学北海道短期大学 小林昭裕
北海道大学 愛甲哲也・庄子康

知床における今後の調査についてのご説明

研究側としていくつかの調査を同時並行に行っております。それらについて、見えづらい部分がありましたので、まずどのような目的でそれらを行っているのかをご説明させて頂き、誰がどのような体制でそれを実行しているのか、具体的にどんな調査を行うことを考えているのかの順にご説明をさせていただきます。

<調査の目的>

知床では認定ガイド制の導入や高架木道の延長、また再来年度にはカムイワッカの工事の終了などがあり、利用の動態が大きく変化することが予想されます。具体的な問題としては、認定ガイド制への利用集中(もしくは高架木道への利用集中)、認定ガイド制の導入や高架木道の延長に伴う混雑の発生、知床五湖での滞在時間の増加に伴う交通渋滞の発生、利用動態の変化による新たな混雑や渋滞の発生(例えば、羅臼湖やフレペの滝)などです。最終的な目標としては、再来年のカムイワッカの工事終了後の、適切な利用システムの確立するために、検討資料を準備できればと考えております。

<調査・研究の体制>

—研究取りまとめ者(知床世界自然遺産科学委員会委員)—

- ・ 小林昭裕(専修大学北海道短期大学)

—研究企画者(研究の計画内容を立案し、調整を図っている者)—

- ・ 愛甲哲也(北海道大学大学院農学研究院)
制度や利用変化に伴う利用者の混雑感・動態の把握
- ・ 庄子康(北海道大学大学院農学研究院)
制度や利用変化に伴う経済的影響の把握

—研究の協力者—

- 西成活裕(東京大学大学院工学系研究科)
交通量調査および渋滞モデル
- 佐竹暁子(北海道大学創成科学研究機構)
利用者動態予測モデル
- 栗山浩一(早稲田大学政治経済学術院)
認定ガイド制の導入に伴う目的地選択変化に関するモデル化
- 竹内憲司(神戸大学大学院経済学研究科)
認定ガイド制の導入に伴う経済的影響の把握
- 柘植隆宏(甲南大学経済学部)
リスク(ヒグマの出没・知床五湖の閉鎖)に対するレクリエーション行動の把握

—教員の下で調査の実施を担当しているもの—

- 椎名博之(庄子康指導の大学院生)
下記に示すアンケート調査の実施
- 久保雄宏(庄子康指導の学部生)
認定ガイド制の評価(特にガイドの方々の評価を担当)
- 蜂谷菜保子(佐竹暁子指導の大学院生)
各種シミュレーションモデルの構築

<調査の予定>

主にアンケート調査と交通量調査を実施します。

アンケート調査では内容の異なるアンケート調査をいくつか行いますが、様々調査を複数行うのではなく、日程調整の上、重複しないように実施を致します。また、調査は一般のお客様を対象に行いますが、皆様のお客様にもお声をお掛けすることになると思います。アンケート内容をご確認頂き、ご判断を頂ければと思います。

交通量調査では、一般車両で来られたお客様に動態把握カードをご記入頂きます。ガイドの方のお車については係員が目視で把握することとなっております。歩行速度の計測を実施するためビデオなどを設置しておりますが、お客様から質問があった場合には、その旨をご説明頂ければと思います。

- 知床五湖の植生保護期におけるアンケート調査(8月末まで)
場所: (同上)
目的: (同上)
内容: (同上)
- 知床全体の利用動態を把握するためのアンケート調査(8月末まで)

場所： 知床五湖・フレペの滝・自然センターなど主要な観光サイト
目的： 訪問先を確認し、お客様がどれだけの期間、知床内の観光サイトを訪問するかを明らかにすることで、利用のシミュレーションを行い、どこでどのような混雑や渋滞が生じるのかを検討する
内容： 現地記入・郵送方式併用で検討中(草案はお送りします)

- 五湖地区車両調査(7月から8月)

場所： 知床五湖
目的： 認定ガイド制や高架木道の延長に伴う、駐車場の容量の把握と対策を検討するための情報を把握する
内容： 五湖駐車場で、大型バス・シャトルバス・路線バスの入退出、乗降客数確認を行う。また一般車両には動態把握カードをご記入頂き、滞在時間を把握する。

- 高架木道・知床五湖歩行速度測定(7月から8月)

場所： 知床五湖
目的： 認定ガイド制や高架木道の延長に伴う、駐車場の容量の把握と歩道での渋滞対策を検討するための情報を把握する
内容： 旧木道に三脚設置しビデオ撮影を行う